

職員の皆さんへ

「実りの秋」、「芸術の秋」そして「読書の秋」、このいずれも爽やかな季語と気配に包まれた10月を迎えました。

9月定例会市議会と決算特別委員会はお疲れ様でした。議員各位から寄せられたご意見ご提言は、これからの市政推の進に役立てたいと思います。

特に今回は新たに平戸市人口減少対策本部を設置し、さっそく先進自治体において取り組んでいる53の事業について本市での実施可能性を検証していますが、今後はそれらの結果を踏まえ新年度の予算編成までに具体的な形に仕上げたいと思っています。

さて今月は本市にとって重要な事業を成果として導き出す節目となります。

一つ目は、台湾台南市との交流事業です。これまで長崎県内の自治体は台湾政府との交流について不文律の厳しい制限がありましたが、わが平戸市は市民の総意に基づき、あえてこれらの制約を越えて日台間の市民レベルによる交流協定の締結に結び付け、その第一回目の訪問事業が行われることとなりました。

台南市では2年に一度の「南瀛国際民俗フェスティバル」が開催され、同市と縁のある20ヶ国の文化団体がそれぞれ特色ある芸術や伝統芸能を披露しますが、平戸市からは地元有志の肝いりによって代表的な演目の一つである「田助ハイヤ節」が出演することになります。

この機会に平戸市の魅力を存分に発信し、今後の市民交流の広がり等について協議してまいります。

二つ目は、待ちに待った「長崎がんばらんば国体」の開催です。

本市は45年振りに開催される相撲競技と軟式野球競技を担当しますが、昨年の東京国体では、相撲競技が優勝、軟式野球競技が準優勝という素晴らしい成績を収めていますので全国から熱い視線が注がれ大いに盛り上がるのが期待されます。平戸市を訪れる数多くの選手・監督・応援団の皆様をはじめ関係者並びに一般の観光客の方々にもご満足いただける絶好のチャンスでもありますので、この際市民の総力を挙げて万全の態勢と「おもてなしの心」で素晴らしい思い出になる演出を実現してまいりましょう。

三つ目は「平戸くんち城下秋まつり」の開催です。このことは今や「平戸藩の秋めぐり」のメインイベントとして定着し、今回で5回目となりますが、亀岡神社の「おくだり」の日程と初めて重なることとなります。本来なら「おくんち」は神社行事との関連が強かったのですが、主催者側との協議において土日の休日で開催してまいりました。今回、「おくだり」が土曜日になることから、本来の「おくんち」として完成した形の演出がたくさんの来訪者を魅了するこ

とが期待できます。多くのボランティアスタッフと連携しながら、さらなる本事業の発展と成功に向けてがんばりましょう。

四つ目は、長崎県では初めての開催となる「全国風サミット」です。これは今回「再生可能エネルギー推進平戸大会」と題して、全国から関係自治体や学会、産業界の関係者をお招きして、平戸市を舞台に広範囲な視察研修も含めた意義ある研究大会として位置づけられます。

国際的にも温室効果ガスについての抑制が強く叫ばれ、今や地球規模での課題になっているこの時に、本市が他に先駆けて「二酸化炭素排出ゼロ都市宣言」を成し得たことは、まさに時宜を得た意義ある地域公約であると思います。

この大会を地元の方々とともに大いに盛り上げ、新しい産業クラスター形成や雇用政策にも結び付けたいと思っています。

こうした目玉事業を一つひとつ成功に導くことは、多くの市民の共感を得られるとともに市内外への平戸市の魅力を発信することにもつながり、「チャンス溢れる街・平戸」として人口減少の抑制にも大きな効果が期待できるはずです。

そしてこの他にも、これまで皆さんが地道に取り組んできたいろんな事業についても市民各位の信頼を確かなものにしながらかつて成果が得られるものに仕上げてほしいと思います。その信頼関係こそが「平戸に住みたくなる」「住み続けたい街」として確かな実績になると信じています。

さて今月から、いよいよ本年度後半のスタートであります。

職員皆さんが、さらに心をつなげて職場のチーム力を高めるための相互信頼をより強固なものにし、実りの秋にふさわしい業務の達成感を味わって頂きたいと思います。ともに力を合わせて頑張りましょう。

職員皆さんのご努力に期待します。

平成 26.年 10 月 1 日

平戸市長 黒 田 成 彦